

新保 幸男（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 新保幸男・小林理（2023）『児童家庭福祉』（中央法規出版）
- 2) 山縣文治・新保幸男（2024）『児童・家庭福祉』（全国社会福祉協議会）

2 学術論文

- 1) 新保幸男（2023）「児童福祉学を見つめる視点（5）：こども基本法を中心として」福祉学研究会編『福祉学』第3巻第1号、2～6頁、2023年4月
- 2) 新保幸男（2023）「児童福祉学を見つめる視点（6）：データ連携を中心として」福祉学研究会編『福祉学』第3巻第2号、27～31頁、2023年7月
- 3) 新保幸男（2023）「児童福祉学を見つめる視点（7）：こども大綱を中心として」福祉学研究会編『福祉学』第3巻第3号、36～40頁、2023年12月
- 4) 新保幸男（2024）「児童福祉学を見つめる視点（8）：生活困窮を中心として」福祉学研究会編『福祉学』第3巻第4号、42～46頁、2024年3月

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本社会福祉学会（代議員、査読委員）
- 2) 日本保健福祉学会（理事）
- 3) 日本子ども家庭福祉学会（監事、査読委員）
- 4) 日本キリスト教社会福祉学会（編集委員）
- 5) ヒューマンサービス学会（会員）
- 6) 神奈川県「子ども・若者施策審議会」（会長）
- 7) 神奈川県「子ども・子育て支援推進協議会」（会長）
- 8) 神奈川県「アドボカシーセンター（仮）設置準備検討会」（座長）
- 9) こども家庭庁「こども家庭審議会」（委員）
- 10) こども家庭庁「こども家庭審議会 こどもの貧困・ひとり親家庭支援部会」（部会長）
- 11) こども家庭庁「こども家庭審議会 基本政策部会」（委員）
- 12) こども家庭庁「こどもデータ連携ガイドライン検討委員会」（座長）
- 13) こども家庭庁「ひとり親家庭支援における相談対応事例集検討会」（座長）
- 14) こども家庭庁「ひとり親家庭等自立促進基盤事業評価委員会」（委員長）
- 15) こども家庭庁「はたらく母子家庭・父子家庭応援企業等の表彰審査委員会」（委員長）
- 16) こども家庭庁「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業審査委員会」（委員長）
- 17) こども家庭庁「養育費・面会交流相談支援センター事業に係る技術提案書評価委員会」（委員長）
- 18) 東京都「児童福祉審議会」（副委員長）
- 19) 横浜市「就学奨励対策審議会」（委員）
- 20) 市原市「子ども・若者の貧困対策」（アドバイザー）
- 21) 財団法人鉄道弘済会『社会福祉研究』（査読委員）
- 22) 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会「苦情解決調整委員会」（委員）
- 23) 公益財団法人児童育成協会「企業主導型保育事業審査会」（委員長）

- 24) 公益財団法人児童育成協会「事業譲渡審査委員会」(委員長)
- 25) 財団法人養育費相談支援センター「運営会議」(委員)
- 26) 社会福祉法人横須賀基督教社会館「評議員会」(評議員)

5 社会貢献

- 1) 「ソフトバンク 5G コンソーシアム」(会員)として社会インフラについて関連業界の方々との交流を行っている。
- 2) 「三菱総合研究所 未来共創イニシアティブ」(会員)として未来共創について関連業界の方々との交流を行っている。
- 3) 神奈川県「黒岩知事と県民との対話の広場」での事例報告をした、2023年10月23日
- 4) オープンキャンパスで、学科長挨拶をおこなうと共に受験生などからの相談に応じた。
- 5) ミニオープンキャンパスで、学科長挨拶をおこなうと共に受験生などからの相談に応じた。
- 6) 「夢ナビ」で(ミニ講義)「こども 社会福祉学 ヒューマンサービス」を実施した。
- 7) 「夢ナビ」で(夢ナビライブ)として高校生との対話の時間を2回持った。
- 8) 神奈川県保育会との交流を行った。
- 9) 東京都庁との間で、「子供の権利擁護」についての意見交換を行った。
- 10) 神奈川県庁との間で、「子どもの権利擁護」について意見交換を行った。
- 11) 神奈川県庁との間で、「子どもの貧困対策」について意見交換を行った。

6 講演, 放送

- 1) 全国社会福祉協議会中央福祉学院にて社会福祉専門職に対する講義「児童家庭福祉」を3回おこなった
- 2) 東京都 社会的養護専門職スーパーバイザー研修において、「チームリーダーとスーパービジョン」の講師をつとめた。2024年1月15日
- 3) こども食堂にかかわる事項について、報道機関からの取材に応じた。
- 4) 児童虐待に関することについて、報道機関からの取材に応じた。
- 5) こどもの貧困対策にかかわる事項について、報道機関からの取材に応じた。

7 学会等での活動

- 1) 打越友実・小林理・赤木拓人・新保幸男(2023)「ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究: Dual relationship に関する文献に着目して」 日本社会福祉学会第71回秋季大会、武蔵野大学、2023年10月14日
- 2) 新保幸男・高橋かすみ・二宮和康・古山智・打越友実・小林理(2024)「こども基本計画とヒューマンサービスに関する研究」、2023年度日本社会福祉学会関東部会、オンライン、2024年3月17日
- 3) 小林理・打越友実・新保幸男(2024)「社会的養護における人材育成についての研究動向(1): 施設専門職についての先行研究の動向を中心として」、2023年度日本社会福祉学会関東部会、オンライン、2024年3月17日
- 4) 打越友実・小林理・新保幸男(2024)「ソーシャルワークの『最善の利益』と『beneficence』についての一考察」、2023年度日本社会福祉学会関東部会、オンライン、2024年3月17日

日

- 5) 古山智・高橋かすみ・二宮和康・新保幸男 (2024) 「福祉型障害児入所施設の社会的養護機能の現状に関する研究」、2023 年度日本社会福祉学会関東部会、オンライン、2024 年 3 月 17 日
- 6) 高橋かすみ・二宮和康・古山智・新保幸男 (2024) 「児童相談所における人材育成の課題：先行研究及び公表資料・データの分析を通して」、2023 年度日本社会福祉学会関東部会、オンライン、2024 年 3 月 17 日
- 7) 二宮和康・高橋かすみ・古山智・新保幸男 (2024) 「社会的養護にある子どもの自立に福祉型障害児入所施設の社会的養護機能の現状に関する研究」、2023 年度日本社会福祉学会関東部会、オンライン、2024 年 3 月 17 日
- 8) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) 少子化問題を理解する基盤」『福祉学研究会第 45 回学術集会要旨集』2～3 頁、2023 年 4 月 10 日
- 9) 新保幸男 (2023) 「ひとり親家庭支援とこども家庭データ連携」『福祉学研究会第 45 回学術集会要旨集』26～38 頁、2023 年 4 月 10 日
- 10) 新保幸男・小林理・打越友実 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (10)」『福祉学研究会第 45 回学術集会要旨集』39 頁、2023 年 4 月 10 日
- 11) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) 第 1 回こども家庭審議会で感じたこと」『福祉学研究会第 46 回学術集会要旨集』2 頁、2023 年 4 月 24 日
- 12) 新保幸男 (2023) 「人口減少に関する検討」『福祉学研究会第 46 回学術集会要旨集』25～33 頁、2023 年 4 月 24 日
- 13) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (11)」『福祉学研究会第 46 回学術集会要旨集』34 頁、2023 年 4 月 24 日
- 14) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) 新型コロナ感染拡大期における生活の変化」『福祉学研究会第 47 回学術集会要旨集』2～8 頁、2023 年 5 月 8 日
- 15) 松田萌加・板垣勇祐・長谷川一真・前原諒・水島遙・横田理沙・新保幸男 (2023) 「新型コロナウイルス感染症流行前後における生活様式の変化と児童福祉」『福祉学研究会第 47 回学術集会要旨集』9～11 頁、2023 年 5 月 8 日
- 16) 新保幸男 (2023) 「こども家庭データ連携事業についての検討 (2)」『福祉学研究会第 47 回学術集会要旨集』32 頁、2023 年 5 月 8 日
- 17) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (12)」『福祉学研究会第 47 回学術集会要旨集』33 頁、2023 年 5 月 8 日
- 18) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (1)」『福祉学研究会第 48 回学術集会要旨集』2～3 頁、2023 年 5 月 29 日
- 19) 新保幸男 (2023) 「リプロダクティブヘルスの視点とこども大綱」『福祉学研究会第 48 回学術集会要旨集』32～33 頁、2023 年 5 月 8 日
- 20) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (13)」『福祉学研究会第 48 回学術集会要旨集』34 頁、2023 年 5 月 29 日
- 21) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (2)」『福祉学研究会第 49 回学術集会要旨集』2～3 頁、2023 年 6 月 12 日
- 22) 新保幸男 (2023) 「リプロダクティブヘルスの視点とこども大綱 (2)」『福祉学研究会第 49 回学術集会要旨集』20～23 頁、2023 年 6 月 12 日

- 23) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (14)」『福祉学研究会第 49 回学術集会要旨集』24 頁、2023 年 6 月 12 日
- 24) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (3)」『福祉学研究会第 50 回学術集会要旨集』2～4 頁、2023 年 6 月 26 日
- 25) 新保幸男 (2023) 「『こども大綱』の構成要素に関する研究」『福祉学研究会第 50 回学術集会要旨集』41 頁、2023 年 6 月 26 日
- 26) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (15)」『福祉学研究会第 50 回学術集会要旨集』42 頁、2023 年 6 月 26 日
- 27) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (4)」『福祉学研究会第 51 回学術集会要旨集』2～3 頁、2023 年 7 月 10 日
- 28) 新保幸男 (2023) 「『こども大綱』と『こども・若者の自己決定』に関する研究」の構成要素に関する研究」『福祉学研究会第 51 回学術集会要旨集』60～62 頁、2023 年 7 月 10 日
- 29) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (16)」『福祉学研究会第 51 回学術集会要旨集』42 頁、2023 年 7 月 10 日
- 30) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (5)」『福祉学研究会第 52 回学術集会要旨集』2～3 頁、2023 年 7 月 24 日
- 31) 新保幸男 (2023) 「『乳幼児期までのこどもの育ち』に関する研究」『福祉学研究会第 52 回学術集会要旨集』47～48 頁、2023 年 7 月 24 日
- 32) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (17)」『福祉学研究会第 52 回学術集会要旨集』42 頁、2023 年 7 月 24 日
- 33) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (6)」『福祉学研究会第 53 回学術集会要旨集』2～3 頁、2023 年 8 月 14 日
- 34) 新保幸男 (2023) 「『子どもの居場所としてのシェルター』に関する研究」『福祉学研究会第 53 回学術集会要旨集』63～64 頁、2023 年 8 月 14 日
- 35) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (18)」『福祉学研究会第 53 回学術集会要旨集』65 頁、2023 年 8 月 14 日
- 36) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (7)」『福祉学研究会第 54 回学術集会要旨集』2～3 頁、2023 年 8 月 28 日
- 37) 新保幸男 (2023) 「21 年目に入った社会福祉学科の現状と今後の課題」『福祉学研究会第 54 回学術集会要旨集』48～53 頁、2023 年 8 月 28 日
- 38) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (19)」『福祉学研究会第 54 回学術集会要旨集』54 頁、2023 年 8 月 28 日
- 39) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (8)」『福祉学研究会第 55 回学術集会要旨集』2～3 頁、2023 年 9 月 11 日
- 40) 新保幸男 (2023) 「こども大綱で用いられる基本的な用語 (9 月 11 日現在)」『福祉学研究会第 55 回学術集会要旨集』53 頁、2023 年 9 月 11 日
- 41) 新保幸男・小林理・打越友実 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (20)」『福祉学研究会第 55 回学術集会要旨集』54 頁、2023 年 9 月 11 日
- 42) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会における審議状況 (9)」『福祉学研究会第 56 回学術集会要旨集』2 頁、2023 年 9 月 25 日

- 43) 新保幸男 (2023) 「こども大綱で用いられる基本的な用語 (9月25日現在)」『福祉学研究会第56回学術集会要旨集』53頁、2023年9月25日
- 44) 新保幸男・小林理・打越友実 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (21)」『福祉学研究会第56回学術集会要旨集』54頁、2023年9月25日
- 45) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども大綱 (中間整理案、やさしい版、2023年9月25日) について」『福祉学研究会第57回学術集会要旨集』2頁、2023年10月9日
- 46) 新保幸男 (2023) 「権利の主体としてのこども・若者: こども大綱 (中間整理案、2023年9月25日) を中心として」『福祉学研究会第57回学術集会要旨集』53頁、2023年10月9日
- 47) 新保幸男・小林理・打越友実・高橋かすみ・古山智 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (22)」『福祉学研究会第57回学術集会要旨集』54頁、2023年10月9日
- 48) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こどもまんなか社会に向けての論点」『福祉学研究会第58回学術集会要旨集』2～10頁、2023年10月23日
- 49) 新保幸男 (2023) 「こども・若者、子育て当事者の視点を尊重: こども大綱権利の主体としてのこども・若者: こども大綱 (中間整理案、2023年9月25日) を中心として」『福祉学研究会第58回学術集会要旨集』50～51頁、2023年10月23日
- 50) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (23)」『福祉学研究会第58回学術集会要旨集』52頁、2023年10月23日
- 51) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども政策の方向性: 過去と未来」『福祉学研究会第59回学術集会要旨集』2～7頁、2023年11月13日
- 52) 新保幸男 (2023) 「こども・若者、子育て当事者のライフステージに応じた対応: こども大綱 (中間整理案、2023年9月25日) を中心として」『福祉学研究会第59回学術集会要旨集』50～51頁、2023年11月33日
- 53) 新保幸男・小林理・打越友実・(2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (24)」『福祉学研究会第59回学術集会要旨集』52頁、2023年11月13日
- 54) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) 福祉実践と子どもの才能」『福祉学研究会第60回学術集会要旨集』2～7頁、2023年11月27日
- 55) 新保幸男 (2023) 「良好な生育環境を確保し、貧困や格差の解消を図るために: こども大綱 (中間整理案、2023年9月25日) を中心として」『福祉学研究会第60回学術集会要旨集』22～23頁、2023年11月27日
- 56) 新保幸男・小林理・打越友実・(2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (25)」『福祉学研究会第60回学術集会要旨集』24頁、2023年11月27日
- 57) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こどもの最善の利益と自己決定」『福祉学研究会第61回学術集会要旨集』2～19頁、2023年12月11日
- 58) 新保幸男 (2023) 「若い世代の生活の基盤の安定について: こども大綱 (答申、2023年12月1日) を中心として」『福祉学研究会第61回学術集会要旨集』40～41頁、2023年12月11日
- 59) 新保幸男・小林理・打越友実・(2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (26)」『福祉学研究会第61回学術集会要旨集』24頁、2023年12月11日
- 60) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) 児童扶養手当制度: 令和6年度改正」『福祉学研究会第62

回学術集会要旨集』2～4頁、2023年12月25日

- 61) 新保幸男 (2023) 「施策の総合性・連携について：こども大綱 (2023年12月22日) を中心として」『福祉学研究会第62回学術集会要旨集』229～230頁、2023年12月25日
- 62) 新保幸男・小林理・打越友実・(2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (26)」『福祉学研究会第62回学術集会要旨集』24頁、2023年12月25日
- 63) 新保幸男 (2024) 「(基調講演) ヒューマンサービス 2024」『福祉学研究会第63回学術集会要旨集』2～8頁、2024年1月9日
- 64) 新保幸男 (2024) 「都道府県こども計画について：こども基本法第10条を中心として」『福祉学研究会第63回学術集会要旨集』57頁、2024年1月9日
- 65) 新保幸男・小林理・打越友実・高橋かすみ・古山智 (2024) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (28)」『福祉学研究会第63回学術集会要旨集』24頁、2024年1月9日
- 66) 新保幸男 (2024) 「(基調講演) ヒューマンサービス 2024 (2)」『福祉学研究会第64回学術集会要旨集』2～6頁、2024年1月22日
- 67) 新保幸男 (2024) 「都道府県こども計画について (2)：こども基本法第10条第4項を中心として」『福祉学研究会第64回学術集会要旨集』133～136頁、2024年1月22日
- 68) 新保幸男・小林理・菅井敏行・打越友実 (2024) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (29)」『福祉学研究会第64回学術集会要旨集』24頁、2024年1月22日
- 69) 新保幸男 (2024) 「(基調講演) ヒューマンサービス 2024 (3)」『福祉学研究会第65回学術集会要旨集』2～10頁、2024年2月12日
- 70) 新保幸男・高橋かすみ・二宮和康・古山智・打越友実・小林理 (2024) 「こども基本計画とヒューマンサービスに関する検討」『福祉学研究会第65回学術集会要旨集』18頁、2024年2月12日
- 71) 新保幸男・小林理・打越友実・高橋かすみ・二宮和康・古山智 (2024) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (30)」『福祉学研究会第65回学術集会要旨集』19頁、2024年2月12日
- 72) 新保幸男 (2024) 「(基調講演) ヒューマンサービス 2024 (4)」『福祉学研究会第66回学術集会要旨集』2～6頁、2024年2月26日
- 73) 新保幸男 (2024) 「神奈川県子どもの生活状況調査に関する検討 (1)」『福祉学研究会第66回学術集会要旨集』45頁、2024年2月26日
- 74) 新保幸男・小林理・打越友実 (2024) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (31)」『福祉学研究会第66回学術集会要旨集』46頁、2024年2月26日
- 75) 新保幸男 (2024) 「(基調講演) こども・若者、子育て当事者等の意見の例」『福祉学研究会第67回学術集会要旨集』2～5頁、2024年3月11日
- 76) 新保幸男 (2024) 「神奈川県子どもの生活状況調査に関する検討 (2)」『福祉学研究会第67回学術集会要旨集』51頁、2024年3月11日
- 77) 新保幸男・小林理・打越友実 (2024) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (32)」『福祉学研究会第67回学術集会要旨集』46頁、2024年3月11日
- 78) 新保幸男 (2024) 「(基調講演) こども・若者、子育て当事者等の意見の例 (2)」『福祉学研究会第68回学術集会要旨集』2～36頁、2024年3月25日
- 79) 新保幸男 (2024) 「神奈川県子どもの生活状況調査に関する検討 (3)」『福祉学研究会第

68 回学術集会要旨集』46 頁、2024 年 3 月 25 日

- 80) 新保幸男・小林理・打越友実・高橋かすみ・二宮和康・古山智・池田竜黄 (2024) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (33)」『福祉学研究会第 68 回学術集会要旨集』47 頁、2024 年 3 月 25 日

8 学内教育活動

- 1) 大学院博士後期課程の大学院生 3 名の研究指導を担当した。
- 2) 大学院博士後期課程で栄養学系の大学院生 1 名の研究指導補助を担当した。
- 3) 大学院博士後期課程でリハビリテーション系の大学院生 1 名の研究指導補助を担当した。
- 4) 大学院博士後期課程の大学院生 1 名の博士論文審査会において主査をつとめた。
- 5) 大学院博士後期課程の大学院生 1 名の博士論文審査会において副査をつとめた。
- 6) 大学院博士後期課程の大学院生 1 名の博士論文予備審査会において主査をつとめた。
- 7) 大学院博士後期課程の大学院生 2 名の博士論文予備審査会において副査をつとめた。
- 8) 大学院博士後期課程の大学院生 1 名の博士論文研究計画審査会において副査をつとめた。
- 9) 大学院博士後期課程「児童福祉学特論」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。他系の後期課程院生 2 名も参加してくれました。
- 10) 大学院博士後期課程「児童福祉学演習」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。
- 11) 大学院博士前期課程の大学院生 3 名の研究指導を担当した。
- 12) 大学院博士前期課程「社会福祉原論」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。
- 13) 大学院博士前期課程「ヒューマンサービス特論」のうち 1 回の授業を担当した。
- 14) 学部 4 年次の象徴科目「ヒューマンサービス論Ⅱ」の科目責任者として、授業 8 回のうち 7 回を担当した。学生から提出される「リアクションペーパー」の内容を大切に授業運営を行っている。特に、各学生が学部 4 年間で体験してきた実習の内容を共有しやすいうように工夫することで、他の専門についての認識力を相互に得やすい状況を作るように取り組んでいる。
- 15) 学部 4 年次「卒業論文」指導において 5 名のゼミ生への指導を行った。
- 16) 学部 4 年次「社会福祉専門演習Ⅱ」において 6 名のゼミ生への指導を行った。
- 17) 学部 3 年次「社会福祉専門演習Ⅰ」において 6 名のゼミ生への指導を行った。
- 18) 学部 3 年次の必修科目である「ソーシャルワーク実習Ⅱ」において 6 名の学生を担当した。
- 19) 学部 3 年次の必修科目である「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」において 6 名の学生を指導した。神奈川県内の児童相談所 5 ヶ所、児童自立支援施設 1 ヶ所で学生がそれぞれ実習をさせていただいた。
- 20) 学部 2 年次の必修科目「児童福祉論」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。
- 21) 学部 2 年次の必修科目「ソーシャルワーク実習Ⅰ」において、実習前の事前指導及び実習中の指導を担当した。初めての実習となる学生との対話を大切にしながら実習指導を行った。
- 22) 学科で実施している社会福祉士国家試験対策講座において「児童や家庭に対する支援と

児童・家庭福祉制度」を担当した。

9 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉学科長
- 2) 教育研究審議会（委員）
- 3) 学長補佐会議（委員）
- 4) 総務・企画委員会（委員）
- 5) 学科長会議（委員）
- 6) アドミッションセンター運営会議（委員）
- 7) 内部質保証推進部会（委員）
- 8) COI（利益相反）委員会（委員）
- 9) 開学 20 周年記念事業企画会議（委員）
- 10) 昇任審査委員会(委員)
- 11) 教員採用面接（委員長）2 件
- 12) 教員採用面接（委員）2 件
- 13) 社会福祉学科人事小委員会（委員長）
- 14) 社会福祉学科実習委員会（責任者）
- 15) 社会福祉学科 SNS（管理者）
- 16) ソーシャルワーク実習担当者会議（担当者）
- 17) ヒューマンサービス担当者会議（「ヒューマンサービス論Ⅱ」科目責任者として出席）